

平成30年度 第2回 地域連絡協議会 開放型病床運営委員会 議事録

日 時 : 平成31年1月24日(木) 14:00 ~ 14:30

会 場 : 会議室

出席者 : ◎大津市医師会

木村 隆 会長 重永 博 副会長 阪口 昇 副会長 西山 順博 学術部長

佐伯 善文 公衆衛生部長 高岡 篤 広報部長

◎JCHO 滋賀病院

来見 良誠 院長 有村 哲朗 副院長 菅井 亜由美 看護部長 大村 英幸 事務部長

大崎 隆志 医事課長 一浦 利英 総務企画課長 西村 直哉 総務企画課係長

議 事 : 司会 一浦 総務企画課長

【司会】 只今より独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院地域連絡協議会 開放型
病床運営委員会を開催いたします。
はじめに滋賀病院院長 来見より挨拶がございます。

【院長挨拶】

来見院長 : 日頃はお世話になりありがとうございます。このたびはご指導のほど、よろ
しくお願い致します。

【司会】 続きまして大津市医師会、木村会長よりよろしくお願い致します。

木村会長 : 日頃は地域医療のレベルアップにご貢献いただきありがとうございます。
今後ともよろしくお願い致します。

【司会】 各委員紹介

【司会】 本会は地域医療に貢献し、より良い病院運営に繋がることを目的としておりま
して、その取り組みを広く皆様にもホームページ等公開する事となりますので
ご了承下さい。早速ではございますが、開放型病床の利用状況につきまして当
院医事課長 大崎より説明させていただきます。

【議事】

1. 開放型病床の利用状況について（資料）

大崎医事課長：(P1) 紹介患者全体の状況について

初診患者は全体で 9,815 人であったが、その中で紹介患者数は 4,728 人であった。内訳としては診察紹介が 2,767 人、検査紹介が 1,961 人、昨年と比較すると 120 名増加した。紹介率は 61.8%。

(P2) 開放型病床の利用状況について

開放型病床 20 床に対する利用率は 62.8%。月平均利用医師数は 1 名、共同指導回数は 49.8 回、平均来院回数は 49.8 回、延べ入院患者数 24.3 人、延べ在院日数 382.3 日、平均在院日数は 15.7 日であった。病床利用率は 62.8%、ご利用いただいているのは登録のうち 1 名。過去 5 年間でも 50%前後を推移している。

(P3) 診察紹介状況（科別）について

平成 30 年度の合計は 2,767 名、昨年比では 187 名増、月平均は 16 名増となっている。

(P4) 診察紹介状況（グラフ）

全体では内科系が 57%、外科系 43%

(P5) 検査紹介状況（検査別）

消化器内視鏡 580 件 -47 件

CT 577 件 -79 件

MRI 689 件 +41 件

平成 30 年トータル 2,139 件、平成 29 年比、年間 -64 件。
月平均 178 件、昨年比 -6 件と横ばいの状況。

(P6) 検査紹介（グラフ）

CT 27%、消化管内視鏡 27%、MRI 32%が大勢を占める。

2. 開放型病床の運用について（意見交換）

木村会長：1 名は同じ先生か。消化管件数が気になる。

医事課長：同じ先生。消化管は上部・下部とも減っている。

西山委員：紹介件数そのものは減っているわけではないと考えている。よそも開放している影響か。DEXAの枠をひろげていただきたい。医師会で一度調査して要望を出したい。

院長：増やす方向でいく。

西山委員：放射線科の山下 Dr が在籍時、熱心に動いていただいていた。辞められてか

らも件数はほぼ変わりなくしっかりやっていた。

有村副院長：予約がとりにくいとかないか。インターネットの利用も考えている。

西山委員：現状では難しいようだ。逆に手間がかかる。実験的にあさがおネットを利用してやっている病院もある。

重永副会長：医師会による 2 月 28 日の会議に是非出席いただきたい。医師会に要望あればご意見を。

【閉会の挨拶】

有村副院長：本日はありがとうございました。医師数が同じで厳しい状況だが共同利用は増えている。いただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。

【司会】 引き続き病院見学会よろしくお願ひ致します。

以上

浜本内科医院 浜本 肇先生

在宅医療を中心に息子 浜本 徹が行っている。自身は週3回外来をしている。

有村 哲朗 副院長

糖尿病性腎臓病に力をいれたい。

山本 和雄 部長

消化器内科8名 専門医師6名 来年度は9名体制で行う予定。

内視鏡ESD治療 ERCP内視鏡 鎮静 6800件程度毎年内視鏡の検査をしている。

山岡 治 部長

開業医からの救急を受け入れるのが当たり前ですが、現在インフルエンザのため、病棟で入院が出来ないため、救急の受け入れられない事を申し訳なく思う。

宮本 証 医長

不整脈 在宅医療 介護 心不全 循環器に関わること関わらない事できるだけ対応していきたい。

中島 亮 部長

3名体制で外来を診ています。

外傷・肩肘スポーツ 中島

膝専門 種村

骨粗しょう症 谷川

粟津診療所 木村隆 先生

訪問看護ステーションが活動的にされている病院としまして
病院医師がレスパイト入院療養型の受け入れをしていただけるのか。

来見 良誠 院長

訪問癌後ステーションを立ち上げ大津市の拠点としています。

訪問診療については今後の課題。

レスパイト入院の必要なときはいつでもご利用可能です。

琵琶湖大橋病院 坂口昇 先生

肩関節はスポーツが多いのか。

中島 亮 部長

肩肘関節 野球が基本 小学生から社会人を診ています。

肘に関しては野球肘で痛めている。検診などで広めていきたい。

有村 哲朗 副院長

肩ならびにフットケア、それ以外にも消化器内科・外科のパンフレットを配布しました。
Drのお役にたてればと思います。

以上